

お礼状

宮津市由良の皆さま

謹啓

このたびは、私たちの生活デザイン演習Ⅴ「宮津市由良地域の歴史的・自然的資源を活かしたエコミュージアム提案」に対して格段のご協力、ご高配を賜り、誠にありがとうございました。

4泊5日の短い時間でしたが、参加学生、教員ともども、由良地域の自然的、生活文化的資源のすばらしさ、大切さに触れさせていただきました。また、われわれの質問、インタビューにも快く対応され、貴重な由良の「光」を拝見させていただきました、地域の方々の熱き思いにも触れさせていただきました。

私たちは、由良地域のかけがえのない「光」「魅力」を、現代社会では消えかけている大切なもの、残していきたいもの、これからも発信していきたいものとしてとらえ、それらの「光」「魅力」を由良の方々にも、また由良以外の地域・都市の方々にも理解してもらい、楽しんでもらいたいと真に実感いたしました。また、今後も、由良の魅力をどのように磨き、あるいは創新し、発信し続けていけば良いのかを考えてまいりたいと思います。

これからもお付き合いいただきたく、よろしくお願い申し上げますとともに、由良地域のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬具

平成18年8月

京都府立大学人間環境学部

教授 三橋俊雄 拝

- (1班) 水田を再生して、環境教育のためのエコパークづくりを提案する
(側田なつき、鵜飼徹、倉林広実、三橋俊雄)
- (2班) 由良岳の生態的、景観的、あるいは山との関わりについて、その魅力を調査する
(田中靖子、河相彩、岩佐匡展、前川紗恵子)
- (3班) 由良の伝統的町並みや歴史的資源を生かし、町ぐるみ博物館を実現するための、各家の「お宝自慢」を調査する
(荒木康太、東朋美、岡田加奈子、面矢慎介・滋賀県立大学教授)
- (4班) 汐汲浜の塩づくりの道具・方法や海の遊びを調査して、由良の海の生活の魅力を発見する
(小林小百合、詫磨紀子、美馬あづさ、徳田晴風、佐々井俊文、ムサ・デンベレ、上田麻紀子)

連絡先：京都府立大学人間環境学部環境デザイン学科、地域・生活デザイン研究室

TEL&FAX：075-703-5435、E-Mail：tmitsu@kpu.ac.jp